CONVANO

2026 年 11月 16日

各 位

会 社 名　株式会社コンヴァノ
（コード：6574　東証グロース）
代表者名　代表取締役社長　　上四元　絢
問合せ先　執行役員　　藤田　真也
（TEL：03（3770）1190（代表））

過年度の修正再表示及び訂正報告書の提出予定に関するお知らせ

当社は、2026 年3月期の連結財務諸表に誤謬があることが判明したことから、本日公表の「2027 年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）」及び本日提出の「第 14 期 半期報告書」において前連結会計年度の連結財務諸表を修正再表示しており、あわせて過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を提出する予定ですので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本日提出の半期報告書に係る期中レビュー報告書は、無限定の結論です。

記

1. 訂正報告書の提出予定について

当社は、2027 年3月期第2四半期（中間期）の会計監査人による期中レビュー手続の過程で、2026 年3月期の連結財務諸表における当社グループのコンサルティング事業の主に売上原価に一部計上漏れ（2026年3月期の第4四半期において 245,696 千円（税抜））があったことが判明いたしました。当該計上漏れは、当社の連結子会社である株式会社 DataStrategy がコンサルティング事業の一環として行う広告関連取引における、複数の外注先に対する外注費（売上原価）に関するものです。同取引では、売上及び外注費を月次の成果集計に基づいて算定しており、決算時には集計期間の締日の翌日から月末までの売上及び関連原価を別途追加計上する必要がありますが、外注先からの請求書に成果の計算期間が明示されていないものがあったことなどから、同期間の外注費の追加計上が漏れていました。これらは、売上収益に対応する売上原価を網羅的に収集できていなかったことによる誤謬です。

当社は、会計監査人による指摘を踏まえ、上記の誤謬について遡って修正する必要があると判断し、本日公表の決算短信及び本日提出の半期報告書の比較情報において、国際会計基準（IAS）第8号に基づき、前連結会計年度の連結財務諸表の修正再表示を行っております。

今後、当該修正内容を第 13 期有価証券報告書（2026 年3月期）にも反映するため、同報告書の訂正報告書を提出する予定です。また、2026 年3月期決算短信及び 2027 年3月期第1四半期決算短信の訂正も行う予定です。

2. 訂正報告書の提出予定時期

現在、過年度の財務数値の確認作業及び会計監査人による所定の手続を進めており、準備が整い次第、速やかに提出する予定です。提出日が確定いたしましたら、速やかにお知らせいたします。

3. 連結業績に与える影響

上記1. の誤謬の修正に伴い、2026 年3月期の第4四半期において売上原価が 245,696 千円増加しております。これにより、2026 年3月期の連結財務諸表における売上総利益、営業利益及び税引前利益が同額減少し、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益が 157,425 千円減少しております。また、2026 年3月 31 日現在の連結財政状態への主な影響は以下のとおりです。

・総資産額　　18,896,397 千円 → 18,984,856 千円（88,459 千円増加）

・資本合計　　10,891,467 千円 → 10,734,041 千円（157,425 千円減少）

・親会社所有者帰属持分比率　57.6% → 56.5%（1.1 ポイント減少）

なお、上記の累積的影響額として、2027 年3月期の期首の利益剰余金が 157,425 千円減少しております。具体的な訂正内容の詳細につきましては、後日提出予定の訂正有価証券報告書等をご参照ください。

また、上記の誤謬の修正に伴い、2027 年3月期第1四半期決算短信においても、前連結会計年度末の財政状態に関する比較数値及び当第1四半期の数値に訂正が生じる見込みであり、訂正後の数値は、同決算短信の訂正時にお知らせいたします。

2027 年3月期の連結業績予想については、2026 年5月 15 日に公表した内容から変更はありません。

4. 今後の対応と再発防止策について

当社は、今回の事態を厳粛に受け止め、コンサルティング事業における原価情報の網羅的な把握と、売上収益と売上原価の対応関係（マッチング）を担保する業務プロセスの見直しを実施いたします。具体的には、事業部門から経理部門へのタイムリーかつ正確な原価データ及び関連情報の連携フローを再構築するとともに、各決算期末における計上原価の網羅性チェックを強化するなど、財務報告に係る内部統制の改善・強化を図り、再発防止に全力を挙げて取り組んでまいります。

株主、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上